

校祖 公江喜市郎先生は1981（昭和56）年9月6日にご逝去されました。一ヶ月後の10月6日に学院葬を行いましたので、学院では、その日を「校祖の日」と定めて、公江先生へのご遺徳を偲び、学院のさらなる発展に努力することを誓う日としています。ですが、1964年の東京オリンピック閉会式後、本学院はオリンピック選手を招いた演技会を行っています。

本校グランドで、学院創立25周年行事として開催しました。
グランドに聖火台を設け、公江先生は未来に羽ばたく女性を育む決意を胸に点火されました。先生が点（とも）された女子教育の火は、藤原校長先生が掲げる「美しい女性を育む」教育へと受け継がれています。

「校祖の日」を迎えるにあたつて



この言葉は、古くギリシア神話の中にも登場するピグマリオンというキプロスの王子の物語が源となっていますが、後に喜劇として舞台で演じられることとなります。例えば、自分では「歌は上手」などと自覚していないのに、誰かに「君は声がきれいだ」「低音が素敵だ」「歌っている時の表情がいい」などと言われると、「自分は歌に向いている」と自覚するようになります。他者から何も言われなくても、自分で自分の周りには、そのため家族がいて、友だちがいて、学校があるのですが、もし仮に褒めてくれる他者がいなかつたらどうでしょうか？その場合には、他者から何を言われなくても、自発的に強い願望と意欲を持ち続けることにより、自己を向上し、変化させていくという一種の「ピノティズム（自己睡眠）効果」という効果もあります。

社会の環境変化や生活様式の変化が大きな要因で、新しい世代の方々の体型や容貌を変化させていく「美しく若々しくありたい」という強い願望が、新しく生まれた時代の特徴です。しかし、私たちが成長するのに、必要な効果なのです。そして、その「ピグマリオン」でも、「ピノティズム」でも、ギリシア神話の時代から、私たちが成長するのに、必要な効果なのです。それでもどちらでもいいので、何か一つ「自分はこうなりたい」といった願望や目標を持つことで、明日からの生活はどこか変わるものになるだろうし、将来はもつともっと変わったものになるはずです。



自分を褒めよう

総務部長 小澤正豪



9月号
(第337号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部

トビタテ！ 留学 JAPAN (8/13~9/2)
アフリカ（ガーナ）体験記

ガーナへは飛行機の乗り継ぎも一人でした。日本人が一人という環境に馴染めず、悩んだ時もありましたが、悩んでいる暇があるのなら、自ら進んで取り組もうと、改めて心に決めました。

現地ではボランティアとして、午前中は子供達の学ぶ校舎を青や黄色に塗装する修繕活動に従事、午後はDaycare Centerや孤児院で生活している子供達の食事の補助などの日常生活を助けたり、一緒に走り回って遊びました。

洗濯やシャワーを全て家のタンクに溜めてある雨水を使用して使うため、使うことできる量に限りがあり、停電も頻繁に起きるため、水や電気の大切さを学びました。

活動中の会話で分からぬ單語が出てきたら、その都度辞書で調べました。配布されたスケジュールがすべて英語だったので、活動のない夜に分からぬところをコツコツ調べて必死についていく努力をしました。

自分の知らない世界、環境に一人で挑戦することはとても不安でしたが、高校生の今しかできないことを世界にはたくさんあります。

今回の留学で私は一人の高校生として、そして一人の人間として大きく成長できましたと確信しました。この経験を将来に活かしていく



全国大会頑張つきました！

中高だより7月号で、ご紹介できなかつた全国大会に出場したクラブの生徒たちの声です。

体操部（新体操部）

今年も県大会、近畿大会を突破し全国大会に行き、私たちの目標であった

全国中学総体での初めての入賞（第5位）を実現させることができ、とても嬉しかったです。

自分たちでも納得のいくノーミスの演技で、今までやってきたことを出し切ることができました。何よりもたくさんの方の観客のいる、



水泳部

大寺 悠陽（高3）

私たち4名は8月17日から19日まで新潟県長岡市で行われた全国中学校水泳競技大会で400mメドレー、中達さんは200mバタフライにも出場していました。この大会に出場するには市内大会、阪神大会、県大会へと進み、県大会で厳しい標準記録を突破することができ、全国大会に行くことができました。

全国大会はいつもと違う雰囲気で緊張しました。ベストタイムで泳ぐことはできませんでしたが、悔いなく楽しむことができ、良い経験になりました。また、たくさんの速い人たちのレースを見た。多くの刺激を受け、新しい目標を見つけられたと思います。

来年もそれぞれが全国大会やインターハイに出場できるようにこれからも頑張つていきたいと思



体操部（器械体操部）

仲西 陽菜（中3）

8月3日から5日、島根県で行われた全国高校総体に出場させていただきました。

昨年、足のけがによる手術で思うように動けず悔しき思いをしてきました。けれど、そんな時に声をかけてくださったコーチ、先輩、後輩、そして一番近くで支えてくれた両親のお陰で出場する権利を勝ち取

り、全国という舞台で演技しきることができました。

その感謝の気持ちを持つて、引退までの残り少ない試合や練習を大切にしていきたいと思います。

仲西 陽菜（中3）

8月3日から5日、島根県で行われた全国高校総体に出場させていただきました。

昨年、足のけがによる手術で思うように動けず悔しき思いをしてきました。けれど、そんな時に声を

かけてくださったコーチ、先輩、後輩、そして一番近くで支えてくれた両親のお陰で出場する権利を勝ち取

り、全国という舞台で演技しきことができました。

その感謝の気持ちを持つて、引退までの残り少ない試合や練習を大切にしていきたいと思います。

仲西 陽菜（中3）

8月3日から5日、島根県で行われた全国高校総体に出場させていただきました。

昨年、足のけがによる手術で思うように動けず悔しき思いをしてきました。けれど、そんな時に声を

かけてくださったコーチ、先輩、後輩、そして一番近くで支えてくれた両親のお陰で出場する権利を勝ち取

中1 SSサイエンスツアーアイ(8/8~10)

[宍道湖・安来・三瓶山・秋吉台方面]

中学1年SSコースでは、「自然に触れる、自然を知る、自然に親しむ」をテーマに様々な課題に取り組んでいます。

一日目は、宍道湖で研修しました。宍道湖は、汽水湖です。汽水湖とは淡水中に海水が侵入している湖沼をいいます。ここでギンブナ、アシシロハゼなど17種の生物を採集することができました。

二日目は島根県にある三瓶山で研修しました。大山隠岐国立公園に指定されています。午前中は自然観察を行い、この地域に生息する動植物を観察しました。そして、午後は三瓶小豆原埋没林公園に行きました。ここでは約4000年前の三瓶火山の噴火に伴い、山麓を流れ下った土砂によって地中に埋もれた杉が展示されています。縄文時代のままの姿の巨木を間近で見学しました。

三日目はまず山口県にある「秋吉台」に行きました。「秋吉台科学博物館」でカルスト台地について学び、その後実際に散策しました。また化石採集も行いました。生徒たちは一心不乱に石を割り、ワンソクガイ、サンゴ、アンモナイトなどの化石を見つけていました。午後は秋吉台の地下100m、その南麓に開口する日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞」を見学しました。洞内は真夏とは思えない涼しさで、地下水によつてつくり出された神秘的な空間に感嘆の声をあげていました。



中2 SSサイエンスツアーアイ(8/1~3)

[愛知県方面]

初日は、愛知県犬山市のサル類の総合的研究、野生ニホンザルの保護などを目的に設立された日本モンキーセンターを訪れました。まず主席学芸員の先生から、モンキーセンターの歴史や役割そして霊長類の進化について講義を受けました。附属世界サル類動物園では、世界各地のサルの生態について実際に自分たちの目で見て学ぶことができました。一般には開放されていないバックヤードの見学もでき、充実した一日を過ごしました。

2日目は愛知高速交通のリニアモーターカーで、車両基地を訪れて運行司令室の見学や模型車両による浮上実験、車両の整備点検などを見学しました。午後からは、トヨタ自動車元町工場に行き、最先端の技術による車両の組み立て工程を見学しました。また、トヨタ会館では安全面や環境対策を重視した最新の自動車技術の学習や「トヨタパートナー ロボット」による演奏を楽しみました。

最終日は、トヨタ産業技術記念館を訪問しました。赤レンガが美しいこの記念館は、トヨタの創業者である豊田佐吉が明治44年に織機の研究開発のために設立した試験工場で、近代化産業遺産にも認定されています。展示パネルや過去に製造された自動車の展示を通して、トヨタの「研究と創造の精神」を学ぶことができました。

3日目は、トヨタ会館の見学でした。

猛暑の中での研修でしたが、学校では味わうことのできない貴重な体験の連続で、生徒たちの今後の研究活動を刺激する充実した3日間でした。



中3 SSサイエンスツアーアイ(8/1~3)

[長野・神奈川・東京方面]

「海底から宇宙まで、私たちを取り巻く地球環境を科学的視点で捉える」をテーマとしたサイエンスツアーアイ初日は、国立天文台野辺山宇宙電波観測所で、電波天文学を学びました。電波天文学は、天体から届く電波を直径45mをはじめとする様々なパラボラアンテナを持つ電波望遠鏡で受信して天体観測を行います。可視光による観測とは違う天体の姿は、やはり本来の天体の姿に近いものであり、光を出さないブラックホールなども観測することができます。

2日目は、神奈川県の海洋研究開発機構 JAMSTEC を訪れました。世界最高レベルの性能を誇るスーパーコンピュータによる地球環境現する実験も見せていただきました。地球深部探査船「ちきゅう」の女性乗組員の方に講演をしていた

だいたり、「しんかい6500」の実物を前に、深海探査の意義や現状も教えていただきました。3日目前半は、国立極地研究所南極・北極科学館

「Jinimo」を貸し切り、体験乗車をしました。事前学習で調べたりニアモーターカーの特徴である、レールからの浮上や騒音・振動が小さいという快適な乗り心地を体験しました。乗車体験後は、本部・車両基地を訪れて運行司令室の見学や模型車両による浮上実験、車両の整備点検などを見学しました。

午後からは、トヨタ自動車元町工場に行き、最先端の技術による車両の組み立て工程を見学しました。また、トヨタ会館では安全面や環境対策を重視した最新の自動車技術の学習や「トヨタパートナー ロボット」による演奏を楽しみました。

最終日は、トヨタ産業技術記念館を訪問しました。赤レンガが美しいこの記念館は、トヨタの創業者である豊田佐吉が明治44年に織機の研究開発のために設立した試験工場で、近代化産業遺産にも認定されています。展示パネルや過去に製造された自動車の展示を通して、トヨタの「研究と創造の精神」を学ぶことができました。

3日間の研修で学んだことは、それぞれ手法こそは様々ですが、皆が地球や生命の起源に迫る、最先端でそして熱い情熱を持って研究に取り組む姿だつたように思います。

性研究者の方に、研究の概要を説明していただきました。3日間の研修で学んだことは、それぞれ手法こそは様々ですが、皆が地球や生命の起源に迫る、最先端でそして熱い情熱を持って研究に取り組む姿だつたように思います。



高1 SS海外研修アメリカ(8/23~29)

[アメリカ・サンディエゴ]

高1 SSコース海外研修は、アメリカ・サンディエゴで行われました。主な訪問地は、カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)、カリフォルニア州立大学サンマルコス校 (CSUSM)。企業ではベクトン・ディケンソン・サイエンス社、Thermo Fisher SCIENTIFIC 社。他にもサンディエゴ動物園サファリパークや現地の学校である私立 Pacific Academy 校と公立 Del Norte High School 校で研修を行いました。

研修では、同じ女性で、世界で活躍されている日本人研究者の方や薬剤師の方から、現在までの経験や、携われている研究内容・仕事内容などのお話を聞きました。また、実際に大学の先生から講義を受けたり、研究室の見学もさせていただきました。日本人の方だけではなく、世界各国から研究や仕事に来られている方も多くおられ、いきいきと研究されている姿や、情熱を持つ仕事に打ち込まれている姿に生徒たちは魅了されました。

また、最先端の医療機器や研究道具・機器を製造・研究している企業での見学研修では、アメリカと日本の医療の違いを肌で感じ、システムや技術に関することがだけではなく、どのような考え方があるのかも学ばせていただきました。生徒たちは大きな刺激を受け

ました。

高2 SSサイエンスツアーアイ(8/23~25)

[京都・東京方面]

1日目は、京都大学 iPS 細胞研究所 (C.I.R.A.) を訪問しました。講義を通して、iPS 細胞やその研究について理解を深めることができました。また、女性研究者の方との交流を通して、研究者を志したきっかけや研究のやりがい、苦労したことなどを貴重なお話をたくさん聞くことができました。

2日目は、花王株式会社を訪問し、そこでどのような商品を扱い、どのような研究をしているのか説明していただきました。また、ミュージアムとヘルスケア研究所も案内していただきました。午後からは、東京スカイツリーの見学とその周辺の散策をしました。

3日目の午前は、東京大学薬学系研究科・薬学部で3つの研究室を訪問し、昼食は12名の女性研究者・院生・学生と一緒にとりました。普段、抱えていたり悩みや疑問に、親身になってアドバイスしていただきました。午後は東京大学農学生命科学研究科・農学部で4つの研究室を訪問し、今日的な研究課題や実験機器の説明を受けました。最終日は国立科学博物館を見学しました。フーコーの振り子、江戸時代の女性のミイラ、シアター360など興味深い展示ばかりで、あつという間に時間が過ぎました。また、同じ上野公園内にある

「け、深く感銘を受けたようでした。

研修当初は緊張と不安でなかなか自分の意見を相手に伝えたり、質問することが難しかった生徒たちですが、研修を重ねるたびに自分から色々なことを語り、積極的に意見や功績を教えていただきました。また、館内も非常に丁寧に案内していただきました。後半は、東京工業大学地球生命研究所を訪れ、天体の起源を研究する女

性研究者の方に、研究の概要を説明していただきました。

素晴らしい研修地そして素敵な方々に出会い、自分の将来像や価値観、目標などを考え、視野を広げる充実した研修となりました。

素晴らしい研修地として素敵な方々に出会って、世界に触れ、私たちが、日本ができるところ、すべきことを改めて考えるきっかけになりました。

通して、世界に触れ、私たちが、日本ができるところ、すべきことを改めて考えるきっかけになりました。



